

アイテム

アートな伊丹を
「観る・行く・体験」

アイテム

2015.1-3月号
公益財団法人
伊丹市文化振興財団
TAKE FREE

つ
な
が
る
音
楽
つ
な
が
る
仲
間



特集

伊丹アイフォニックホール/いたみホール/アイホール3館共同
伊丹わくわくりレー音楽会開催決定!

本で解決!
お悩み
相談室

PTAの活動が忙しくて…
仕事との両立が大変です。
どうすれば良いでしょうか?

(バタバタママさん30代)

明るく楽しいお悩み募集中 図書館南分館まで!



本のことなら
おまかせ!
みなみさん

みなみさんの
オススメ本



「七人の敵がいる」
加納 朋子・著
(集英社)

仕事、家事、PTAにご近所付き合い…。
ママ一人でこなせるのでしょうか？
この本の主役陽子も、PTAや自治会活動の大変さを思い知ります。
こんなに大変ってご存知でしたか？
パパさんたち!! この小説にはそんな日々を乗り切るヒントが隠されています。
ぜひご家族皆さんで読んで下さい。

どこのおうちも一緒だなあ。オレのかあちゃんも忙しそうだけど楽しそうにやってるぞ。PTAっていやいややらされてるイメージだけど何でだろ？
かあちゃん、オレが学校でのびのび過ごせるようになって考えたらPTAの仕事前向きにできるようになったって！
オレ、ベルマーク用紙に貼る仕事一緒に手伝おうかな。

ぶんたくんの
オススメ本



「PTAをけっこうラクにしたのしくする本」
大塚 玲子・著
(太郎次郎社エディタス)



図書館大好き!
ぶんたくん

ラストホール1Fの図書館
伊丹市立図書館 南分館

南野2-3-25 ☎072-781-7333

アイテム
2015年1月4日発行(季刊冬号・通巻82号)
発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団
編集・デザイン/平井和哉(0.1knot)
〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
いたみホール(伊丹市立文化会館)内
tel.072-778-8788 fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan/
e-mail itami-kikaku@bcb.bai.ne.jp



美術館/『フジフィルム・フォトコレクション展/シャレにして
オツなり展』(1/10(土)~2/11(水祝))5組10名 ※締切/1月20日
プレゼントをご希望の方は、ハガキまたはメールで
郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、
上記文化振興財団宛「アイテムプレゼント係」まで。
当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

みやのまえ
文化の郷
美術館
工芸センター
伊丹駅前
美術文庫



伊丹での発表は初めてなので
ワクワクしています
(前左から竹越利栄子さん、
増田美智子さん、鈴木壽子さん)

伊丹アイフォニックホール音楽教室 「オカリナ」

月2回、初級・中級・入門の3クラス。
結束固いチームワークはちょっと自慢。

オペラ公演とは違う新しい試みなので、
他のメンバーとしっかり連携したいですね
(高谷みのりさん)

伊丹市民オペラ公演実行委員会

29回目を迎える伊丹市民オペラ。
総勢200名が参加する一大イベント。

いろんな方に見て頂き、
もっと親しみのある
シティフィルになりたいです
(中浜恵子さん)

伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団

プロアマ混合のオーケストラ。
ホール公演から出張演奏まで幅広く活動する。

クリスマス公演の経験を踏まえて、
更にパワーアップします！
(左から北中敦恵さん、西野俊一さん)

伊丹アイフォニックホール音楽教室「ゴスペル」

月2回、午前・午後の2クラス。
初心者から経験者まで「楽しく歌う!!」がモットー。

自分たちの演奏も含めて、
いろんな音楽を
楽しんでください！
(左から村上育歩さん、片岡大蔵さん)

伊丹市吹奏楽団

高校生から大人まで参加し、40年の歴史。
定期公演は常に満席！

特に子どもたちのパワーを
感じとってほしいです
たつみ
(巽秀作さん)

伊丹太鼓の会

伊丹の盆踊りに欠かせない存在。
姉妹都市である中国の佛山市を始め、海外公演も。

当日へ向けての
意気込みをどっぞ！



伊丹 わくわく リレー音楽会



イメージキャラクター
ワクワクくん



特集

伊丹アイフォニックホール/いたみホール/アイホール 3館共同

伊丹わくわくリレー音楽会開催決定！

特別座談会

座談会進行/西史夏(伊丹アイフォニックホール) 取材・構成/平井和哉(0.1knot)

座談会参加者(実施日2014年11月15日)

伊丹市吹奏楽団/片岡さん、伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団/中浜さん、伊丹太鼓の会/巽さん、伊丹市民オペラ公演実行委員会/高谷さん、伊丹アイフォニックホール音楽教室「ゴスペル」/北中さん・西野さん、伊丹アイフォニックホール音楽教室「オカリナ」/竹越さん・増田さん・鈴木さん

つながる音楽
つながる仲間

公演やイベントの開催だけではなく、音楽団体の支援・育成も行う「伊丹アイフォニックホール」。こちらを拠点に活動をするいくつかの団体が一堂に介し、伊丹市内の三つのホールで三日間に渡り「伊丹わくわくリレー音楽会」が開催される。

今回初となるこの試み。普段とは違う舞台で、しかもジャンルの垣根を超えたイベントを控えて、各団体のメンバーはどのように感じているのだろうか。そこで全体会議に少しお邪魔し、当日の見どころや意気込みを座談会形式で聞いてみた。

伊丹市吹奏楽団



初めての取り組みに
対する思いとは？

西「今回のイベントは、主にアイフォニックホールで活動されている音楽団体の方に参加いただき、市民の方に一度にまとめて見ただけという趣旨です。初めての試みになりますが、今率直にどのように思われていますか？」

中浜（シティフィル）「今はまだピンと来ていませんが、あと3ヶ月しかないんですよ（笑）。早く仕上げにかからなきゃと思っ
ています」

片岡（市吹）「私たちは尼崎とか西宮とか他の市の吹奏楽団と連携することはありますが、今回のように別のジャンルの団体さんと一緒にするのは初めてのことなの

ので非常に楽しみにしています」
竹越（オカリナ）「年に一度は発表会をしているのですが、こういった大きな舞台でできることは励みにもなりますし、全力でがんばりたいですね」

練習方法に特別な
違いはありますか？

西「普段とは違う場所での公演になる団体さんもあると思います
が、練習方法などでご苦労されていることはありますか？」

巽（太鼓）「私たちはワークシヨップをすることになってい
ますが、なんせそんな経験がありませんので（笑）。一部のメンバーは幼稚園で教えたりしているのですが、太鼓に触れてもらって親し



本番の見どころを
こつそり

教えてください！

西「普段とは違う場所、なおかついろんな団体さんが参加されるので、お客さんの層も変わってくると思います。そこで各団体さんのアピールポイントを教えてもらえますか？」

中浜（シティフィル）「私たちの場合は翌日の本番に向けての最終リハーサルを見ていただく場になります。かなりの緊張感があると思いますし、裏側を見ていただく機会は少ないと思いますのでぜひ楽しみにしてください」

西野（ゴスペル）「ゴスペルは元々年齢層が広いのですが、今回は3歳の子どもさんが出演します」

伊丹アイフォニックホール 音楽教室「ゴスペル」



伊丹太鼓の会

んでもらうためにどうしたらいいかを考えているところです」

西「オペラの方々には街中でフラッシュモブ（予告なしに街中で行われるパフォーマンス）をしていただきますが、カルメン役の高谷さんどうですか？」

高谷（オペラ）「3月のオペラ公演に向けての練習が始まったばかりなので、宣伝としてうまくいきますかどうか。でもすごく楽しみです
ですね」

西「阪急伊丹駅近くのサンロード商店街という、なかなか味のある場所、乾物屋さんとか魚屋さんの前でのパフォーマンスになります
が（笑）」

中浜（シティフィル）「突然カルメンの衣装を着た方が目の前に現れたらびっくりしますよね」

高谷（オペラ）「そうなんです。びっくりはさせたいんですが、衣装のまま歩いていたら、すぐにバレちゃいますよね。でも突然びっくりさせたいし…どうしたらいいんでしょう？」

（一同爆笑）

西野（ゴスペル）「ゴスペルはクリスマス前に本番があるので、それに向けて仕上げてるんですが、きつと反省点が出てくると思うので、きちんと修正したものを発表できれば」

北中（ゴスペル）「でもお正月にお酒飲んだら全部忘れちゃいそうで怖いです（笑）」

西「今回のイベント以外にも本番がある団体さんもあるので、練習真っ最中かと思いますが、ぜひ宣伝の方もお願いします！」

主なイベントは下記のとおり〔下記全て1/31(土)開催分〕

- 伊丹太鼓の会「和のビートを響かせよう！」ワークショップ
(会場・お問合せ：アイホール ☎072-782-2000)
- 伊丹市民オペラ『カルメン』プレトーク
(会場：伊丹アイフォニックホール)
- 伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団 こども公開リハーサルツアー
(会場：伊丹アイフォニックホール)
- オカリナ・ゴスペル・伊丹市吹奏楽団 ～アフタヌーンコンサート
(会場・お問合せ：いたみホール ☎072-778-8788)

イベント詳細やその他のイベントは、
チラシ(伊丹アイフォニックホールHPでも閲覧可)をご参照ください。



伊丹市民オペラ公演
実行委員会

こうやっていろんな団体と関わる
中浜(シティフィル)「主にクラ
シックを演奏しているんですが、

今後に生かして
いきたいこと

女の子も増えてきましたね。あと、
年齢層は幅広いです。ウチは30数
年続いている団体なのですが、立ち
上げ当時のメンバーも現役で演奏
しています。70歳とかですから。
さすがにベテランは演奏も上手な
ので、見どころではありますね。
ただ頑固な人が多いので、まとめ
るのが大変です(笑)

西「今回こういつた形で、今まで
になかった横のつながりができつ
つあります。そのことで何かお感
じになることはありますか?」

増田(オカリナ)「そうですね。
練習終わってからみんなでランチ

西「オカリナさんの見どころはど
んなところでしょうか? 皆さんと
ても仲が良い印象があります」
鈴木(オカリナ)「オカリナの優
しい音から始まって、ゴスペル、
吹奏楽と繋がっていくのでどん
ん気分も盛り上がるんじゃないで
しょうか」

西野(ゴスペル)「これは絶対見
てもらわないかんですね」
西「いたみホールでのリレーコン
サートも楽しみですね」

北中(ゴスペル)「すごくかわい
いんですよ。練習のときもおも
ちゃのマイクとスタンドを持って
きてね。ボタンを押すと拍手の音
が鳴るんです。それで盛り上がっ
ています」

異(太鼓)「どちらかというとな
んな感じですが、ちびったちは

竹越(オカリナ)「全部手作りな
のであまり派手なことではできな
いのですが、今回は衣装というより
コサージュに力を入れましたので
お楽しみになさってください」
西「太鼓の皆さんはどうですか?
唯一男性が多い団体さんだと思
うのですが」

西野(ゴスペル)「早変わりです
の衣装になったり」

に行ったり本番の衣装のことを相
談したり」
竹越(オカリナ)「去年は水戸黄
門の曲を演奏しまして、そのとき
にお揃いのハッピを着たんです。
で、その後の曲に変わるときに
ハッピを脱いだらコサージュ付き
の衣装になったり」



も宣伝にご協力ください! 今日
はありますがごさいます」

ことで自分たちの演奏の幅が広
がっていくような気がしていま
す。新しいお客さんにも見ていた
だけそうですし、他団体さんの演
奏を見に行くのも楽しみです」
片岡(市吹)「今回に限らず、従
来の公演のときにも他団体さん
に協力していただいたり、いろん
な可能性があると思っています。今
後どうなるかが楽しみです」
西「この人脈を生かしてもらえ
ると私たちとても嬉しいです。こ
れから続けていくためにも今回の
イベントにはたくさんのお客さん
に来ていただきたいので、皆さん

担当スタッフからひとこと (伊丹アイフォニックホール 副館長/西史夏)



私も知らなかった話がたくさん聞いて楽しかったですね。
このイベントを通して、出演団体のみなさんの普段の素
晴らしい芸術活動を、より多くの市民の方々に知ってもらい
たいです。

枠にとらわれない自由な交流が生まれることにより、ひ
とつひとつは小さな文化活動でも、横に横につながって、
多様で大きな花園になると思うんです。伊丹の「市民力」
がぐんぐん成長するきっかけになれば最高ですね。



舞台人、かく語りき

山田うん

(振付家・ダンサー)

インタビュー／アイホール 権田康行



写真／宮川舞子



写真／羽鳥直志

山田うん版「春の祭典」は初演時にエネルギーッシュと評判でしたね。

新作「七つの大罪」はどんな構想ですか？

「春の祭典」といえば奇抜なアイデアや演出を想像されますが、音楽の持つ多様なリズムと複雑な和音を体に響かせて振付を考え、スコアを読んで構築を捉え、「舞台芸術として見せるダンス」以前の「狂うほどに元気に踊るダンス」を創りました。

山田うんと川合ロンという男女のデュエットで二人一役を演じ、人間の心の葛藤を描きます。演劇的構造を持ちながら、踊りと身振り、歌とセリフ、男と女、欲望と諦めなど、様々な人間の愚かさを表そうと考えています。

伊丹での再演に向けて、どんなところが変わりそうですか？

これまでダンス観劇をしたことのない方にとっても、観るだけで数分間のパワーを充電できるような踊りだと思っています。「春の祭典」関西初上陸、そしてワールドプレミアの「七つの大罪」どちらも楽しみです。劇場でお待ちしています！

よりダイナミックになるように、作品の始まり方や、振付と振付の間など、ほんの0.1秒という時間を調整したり、細かく手を加えていく予定です。私もダンサー達も張りなので今まで以上にエネルギーッシュな踊りを誕生させたいと思っています。

これまでダンス観劇をしたことのない方にとっても、観るだけで数分間のパワーを充電できるような踊りだと思っています。「春の祭典」関西初上陸、そしてワールドプレミアの「七つの大罪」どちらも楽しみです。劇場でお待ちしています！

「作」考察

文／伊丹市立工芸センター 向井智子



糸ノコ

伊丹市立工芸センターでは、1年間全日制でジュエリー制作を学べる「伊丹ジュエリーカレッジ」を開講しています。また、気軽に楽しめる短期間の彫金講座も年に数回行っています。

プロのジュエリー作家をめざす人も、趣味で彫金をはじめめる人も、最初にも手にする道具が糸ノコです。とても細い刃で、硬い金属が切れるというところにまぎびっくり。素材から形を生み出す「ものづくり」の楽しさに惹きこまれていきます。はじめのうちは、力が入りすぎて1ダースの刃をあっという間に折ってしまっていたのが、熟練してくると、柔らかいワックスから、真鍮など硬い金属、アクリルまで、様々な素材に合せて刃を替え、自在に使いこなせるよ

うに。「2014伊丹国際クラフト展」大賞受賞作も、糸ノコを使って、シルバーに細かな透かし模様を切り抜き、加工した作品です。初心者からベテラン作家まですべてのジュエリー作家の必需品「糸ノコ」。あなたも手にしてみませんか？



2014 伊丹国際クラフト展
大賞：WU Ching-Chih



伊丹ゆかりのクリエイター①

中村智志「04-14 ~コレハ“ジュエリー” デスカ?」

1月15日(木)～1月25日(日) ※伊丹在住、伊丹ジュエリーカレッジ修了後、海外でも活躍する中村智志氏の作品展。

「伊丹ジュエリーカレッジ第15期生修了作品展」

3月14日(土)～3月29日(日) ※15期生による1年集大成の作品展。

いずれも入場無料。10:00～18:00(入館は～17:30)。月休(祝日の場合、翌日休)

2015年4月開講 伊丹ジュエリーカレッジ第16期受講生募集中。

体験講習(糸ノコを使用したペンダントトップの制作)・ご見学のお申込みは、伊丹市立工芸センター(072-772-5557)へ。

工芸の企画展と講座など

伊丹市立工芸センター

宮ノ前 2-5-28 ☎072-772-5557

アイホールダンスコレクション vol.74

Co. 山田うん「春の祭典」／「七つの大罪」

振付・演出：山田うん 音楽：芳垣安洋

3月21日(土) 15:00、22日(日) 15:00

一般 3,500円 学生 2,500円(要学生証) 当日各 500円増

現代演劇とコンテンポラリーダンスの拠点

アイホール

伊丹 2-4-1 ☎072-782-2000

2/14 (土) ~ 3/1 (日)

伊丹市ゆかりの芸術家による展覧会

美術館



伊丹市にゆかりのある様々なジャンルの芸術家により結成された「伊丹市芸術家協会」。絵画、彫刻、工芸、書、写真など、会員による作品展を開催いたします。バラエティ豊かな作品をぜひお楽しみください！

平成 26 年度 伊丹市芸術家協会展

2/14 (土)~3/1 (日)。10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)。
月休。無料。072-772-7447

2/15 (日)

ジブシー音楽と踊りのフェスティバル！

伊丹アイフォニックホール



ジブシー発祥の地といわれるインド北西部ラジャスタンの「ドアド」を始め、ルーマニア、マケドニア、ハンガリー、トルコと計 5ヶ国のジブシー音楽舞踊団が集結！鮮烈で生命力あふれる音楽と踊りのフェスティバルステージをお楽しみください。

alphonic地球音楽プログラム「ジブシーロード〜インド・ラジャスタンから東へ」

2/15 (日) 14:00。一般 3,500 円、学生 2,500 円 (当日 500 円増)。
全席指定。072-780-2110

3/1 (日)

朗読劇の魅力を存分に！

ラストホール



毎年好評をいただいている「あめんぼ座朗読劇」。今回は、小泉八雲の著名な怪談より『耳なし芳一のはなし』のほか、小品を朗読劇で上演します。日本初の朗読劇団・あめんぼ座の個性豊かで力強い語りによる朗読劇を、ぜひお楽しみください。

あめんぼ座朗読劇「耳なし芳一のはなし」ほか

3/1 (日) 14:00。一般 1,200 円、高校生以下・60 歳以上 1,000 円 (当日 200 円増)。全席自由。072-781-8877

※イベントにより、未就学児の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各施設にお問い合わせください。

プレビュー

3/1 (土)

動物たちが織りなす不思議なクラシックコンサート！

いたみホール



0 歳のお子様からご入場いただけます。指揮者のオカビをはじめ、演奏するのは全て希少動物という金管五重奏のズーラシアンプラスと弦楽四重奏の弦うさぎ。「とんでったバナナ」「剣の舞」「小さな世界」などを演奏。

ズーラシアンプラスと弦うさぎによる「音楽の絵本」～親子で楽しむコンサート～

3/1 (土) 13:30。大人 2,500 円、子ども (中学生以下) 1,000 円。全席指定。
※保護者 1 名につき 3 歳未満のお子様 1 名まで膝上無料。072-778-8788

3/20 (金)

出演者との距離が近い！和室での落語会

いたみホール



落ち着いた和室を会場に、間近で落語の醍醐味を味わえる公演です。出演は桂千朝、桂米平、桂雀喜、桂ひろば、桂輪輔。どうぞお楽しみに！！
※座布団席の他、椅子席もごございます。

桂米朝一門「いたみ寄席」～座敷で楽しむ、生落語～

発売開始：1 月 8 日 (木) (9:00 からいたみホール窓口、電話予約共)
3/20 (金) 18:30。1,800 円 (当日 200 円増)。全席自由。072-778-8788

3/29 (日)

二人の運命を狂わす、危険な恋…

いたみホール



誰もが一度は耳にした事のある数々の名曲で知られる、フランスオペラの名作「カルメン」。今回は気鋭の演出家、井原広樹氏による、ホセを中心にカルメンとミカエラの三角関係を強調した新演出でお届けします！

第 29 回伊丹市民オペラ定期公演「カルメン」

3/29 (日) 14:00。A 席 5,000 円、B 席 4,000 円 (当日各 500 円増)。
青少年席 (高校生以下) 1,000 円 ※前売のみ限定枚数。全席指定。
072-780-2110 (伊丹アイフォニックホール)

開催中～3/30 (月)

伊丹の生き物大集合！

伊丹市昆虫館



昆虫・鳥・植物・動物…自然が少なそうな伊丹にも、さまざまな生き物が支え合いながら暮らしています。伊丹の生物多様性を知るまたとないチャンス。夏に募集した伊丹の自然絵はがきも展示します。

特別展「いたみの自然～身近な生物多様性～」

開催中～3/30 (月)。9:30～16:30 (入館は 16:00 まで)。
火休 (12/29～31 休)
大人 400 円、中学生 200 円、3 歳～小学生 100 円。072-785-3582

1/10 (土)～2/11 (水・祝)

新春企画・ジャポンモダンな二つの展示

美術館



「フジフィルム・フォトコレクション」より日本写真史を代表する写真家 101 人の「この 1 枚」を紹介する展示と、明治の稀代ジャーナリスト・宮武外骨が発行した「繪葉書世界」など当館所蔵品による「シャレにしてオツなり」の展示と、二つの企画展を同時開催。

フジフィルム・フォトコレクション「シャレにしてオツなり」展

1/10 (土)～2/11 (水・祝)。10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)。
月休 (祝日の場合、翌日休)。一般 300 円、高校生 200 円、小学生 100 円。072-772-7447

1/16 (金)～1/19 (月)

高村光太郎が歩んだ道のり

アイホール



数々の傑作を生み出した詩人・高村光太郎とその妻・智恵子。文学者の戦争協力の問題をモチーフに、二人の新婚時代から、智恵子の病と死、戦争、戦後の隠遁に至るまで、激動する時代と変わりえぬ日常の狭間で一人の詩人が守ろうとした世界を描きます。

青年団「暗愚小傳」

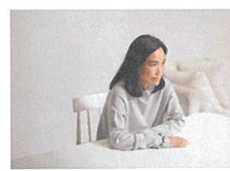
1/16 (金) 19:30、1/17 (土) 14:00/18:00、1/18 (日) 14:00、1/19 (月) 14:00。
一般 3,000 円、学生・シニア (65 歳以上) 2,000 円、高校生以下 1,500 円。
日時指定・整理券番号付自由席。072-782-2000

アイテムおすすめのイベント

2/5 (木)

恋人よ～抒情感あふれる歌声を

いたみホール



40 年を超える音楽キャリアと心に響く歌声で、幅広い世代に支持され続けているシンガー・ソングライター、五輪真弓。「恋人よ」や昨年リリースした新曲も交え、珠玉のバラードナンバーを是非。

五輪真弓コンサート 2014-2015～時をみつめて～

2/5 (木) 18:30。自主事業特別料金 6,800 円。全席指定。072-778-8788

2/7 (土)～3/1 (日)

市民デザインのアフガン絨毯も！

工芸センター



市民がデザインした図案をもとに、アフガニスタンの職人が絨毯に織り上げました。約 30 年もの間、そして今もなお内戦と戦火、洪水と干ばつの中にあるアフガニスタン。現地の人たちが手掛ける伝統工芸品、アフガン絨毯の素晴らしさをぜひご覧ください。写真展や映画上映も同時開催です。

第 4 回アフガン絨毯 Heart Piece 展

2/7 (土)～3/1 (日)。10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)。月休。
無料。072-772-5557

2/7 (土)～2/8 (日)

熊本弁で描く、家族の絆と葛藤

アイホール



激動の“昭和”を生き抜いてきた家族には、ある秘められた真実があった…。それはやがて、一家の結束を揺るがす大事件へと発展していく。田上豊が埼玉県のキラリふじみで創作し、躍動感溢れる熊本弁で家族の絆と葛藤を描き出した話題作が登場。

キラリふじみレポート「Mother-river Homing」

2/7 (土) 19:00、8 (日) 14:00。一般 2,800 円、高校生以下 1,000 円。
日時指定・整理券番号付自由席。072-782-2000